## お手入れ・部品交換

●器具の清掃について ……汚れを落とす場合は、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

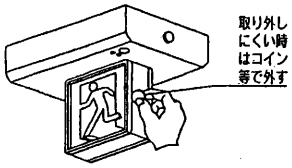
●表示板の交換について ……長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。

### ランプの交換方法

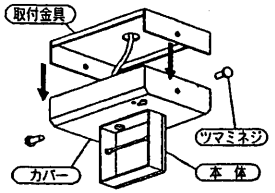
ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。(約6年半毎)
(注)ランプモニターが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

| ランプ | CF110T4EN/W |
|---|---|

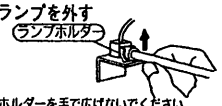
**1 表示板を外す**




**2 本体を外す**
ツマミネジを外し、本体を外す。

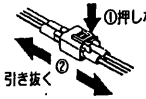



**3 ランプを外す**



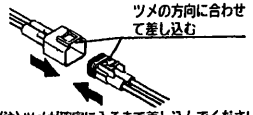

ランプホルダーを手で広げないでください。
ランプが取り付かない原因となります。
ランプの中央を持って取り扱わないでください。
ランプ破損の原因となります。

**4 カバー内のランプコネクタ(黄色)を外す。**




(注) 電線を引っ張らないでください。

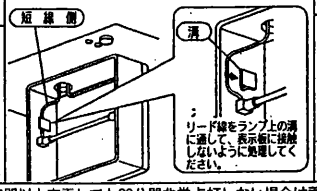
**5 ランプを交換・コネクタ接続**



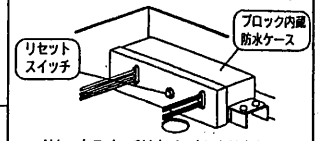

(注)ツメが確実に入るまで差し込んでください。

**6 ランプの取付け・リード線処理**

・リード線の短い方の線が左側になるようにランプ取り付ける。
・ランプホルダーを手で広げないでください。
ランプが取り付かない原因となります。
・ランプの中央を持って取り扱わないでください。
ランプ破損の原因となります。

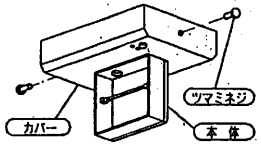



**7 リセットスイッチを押す。**
・電源通電状態でランプが点灯するか確認する。



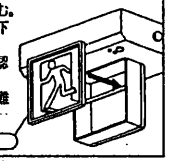

リセットスイッチはカバー内にあります。

**8 本体の取付**
・ツマミネジで本体を取付金具に固定する。
取付に不備があると落下の原因となります。




**9 表示板の取付**

①表示板を確実に押し込む。
取付に不備があると落下の原因となります。
②避難方向が正しいか確認してください。
不備があると正しい避難誘導ができません。

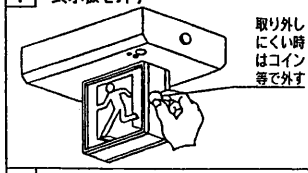



### 蓄電池の交換方法

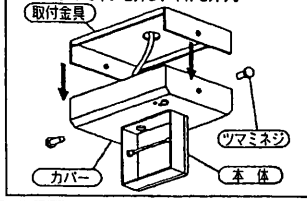
24時間以上充電しても20分間非常点灯しない場合は蓄電池を交換してください。

| 蓄電池 | FK112 (3.6V600mAh) |
|---|---|

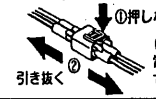
**1 表示板を外す**



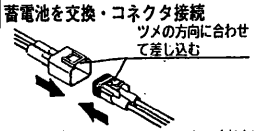

**2 本体を外す**
ツマミネジを外し、本体を外す。




**3 コネクタ(灰色)を外す。**

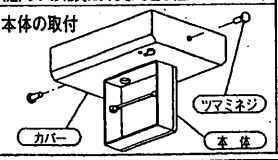



**4 蓄電池を交換・コネクタ接続**



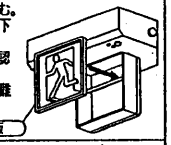

(注)ツメが確実に入るまで差し込んでください。

**5 本体の取付**



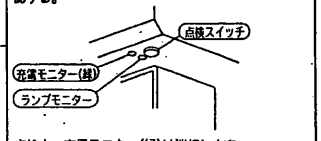

**6 表示板の取付**

①表示板を確実に押し込む。
取付に不備があると落下の原因となります。
②避難方向が正しいか確認してください。
不備があると正しい避難誘導ができません。




**7 非常点灯の確認**

電源通電状態で点検スイッチを押し、非常点灯を確認する。




点検中、充電モニター(緑)は消灯します。
24時間充電後、点検スイッチを押し非常点灯することを確認する。

Ni-Cd この器具には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な資源です。ニカド電池の交換、及びご使用済み電池のの廃棄に際しては、ニカド電池を取り出しリサイクルにご協力ください。

三菱電機照明株式会社 [〒247-0056] 神奈川県鎌倉市大船2-14-40 ☎ (0467) 41-2728

取説 No. E766Z982H20

# MITSUBISHI ルクセントスクエア(防湿・防雨型) 取扱説明書

保管用

(天井直付・吊下兼用形) WSH1711 [C級(10形)避難口 片面型] [電池内蔵型]

•器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

**施工説明** 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

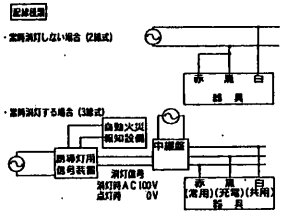
## 安全に関するご注意

### ⚠ 警告

●施工は、取付方法にしたがい確実に行なってください。
施工に不備があると正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。
●器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数以外の電源で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
●蓄電池を短絡・分解などしないでください。
火災・破裂・やけど・感電の原因となります。

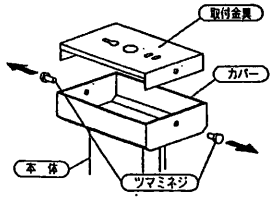
### ⚠ 注意

●直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
●周囲温度は、5~35℃以外では使用しないでください。
蓄電池の劣化や火災及び非常点灯しない原因となります。
●電源線の接続部は完全な防水・絶縁処理をしてください。
不備があると感電・火災の原因となります。
●この器具の電源は誘導灯専用回路にしてください。
●この器具は常時、連続点灯して使用してください。
常時、消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。
●通路誘導灯として使用する場合は、必ず表示板に付属の反射板を取付けてください。
●蓄電池の充電
24時間充電後⇒非常点灯確認してください。




## 器具の取付方法

**1 取付準備**
取付金具を外す
ツマミネジを外し、取付金具を外す。



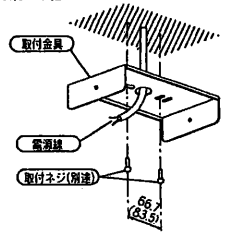

**2 取付前の確認**

●器具質量（1.6kg）に十分に耐えるよう、取付部の強度を確保する。
不備があると、器具落下の原因となります。

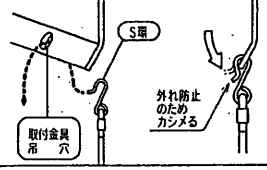
●吊具または壁面取付金具使用時は以下の金具の取扱説明書を参照する。

| | |
|---|---|
| 適合吊具 | C134P |
| 適合壁面取付金具 | TK161 |

**3 取付板の取付**
①電源穴から電源線・アース線を引き込む。
②取付ネジで取付金具を確実に取付ける。
取付け不備があると、器具落下の原因となります。




**4 本体の仮吊**
本体の仮吊鉤先端のS環を取付金具の吊り穴に引っ掛け、外れ防止のためS環をカシメてください。



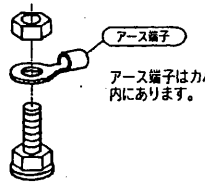

**5 電源線、アース線の接続**

●電源線を確実に接続し、完全な防水・絶縁処理を行う。

●常時消灯しない場合
電源線の黒線と器具の赤線・黒線、電源線の白線と器具の白線を接続する。

●常時点灯する場合
電源線と器具の赤線・黒線・白線の色を合わせて接続する。

●アース端子を利用してD種(第三種)接地工事を行う。




アース端子はカバー内にあります。

接地が不完全な場合、感電・漏電の原因となります。

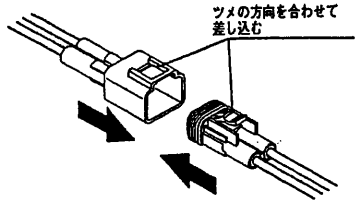
この紙は再生紙を使用しています。

******

## 器具の取付方法(続き)

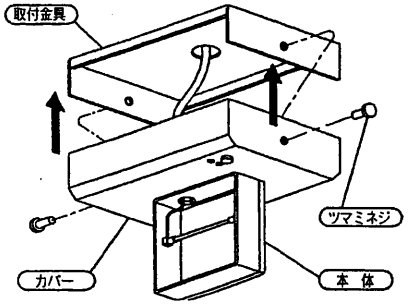
### 6 蓄電池コネクタの接続

●コネクタ(灰色)を確実に接続する。
接続が不完全な場合、非常点灯しない原因となります。




### 7 本体の取付

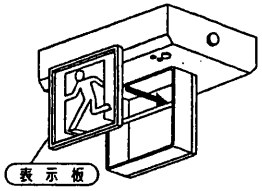
●ツマミネジで本体を取付金具に固定する。
取付けに不備があると、器具落下の原因となります。




### 8 表示板の取付

①表示板を確実に押し込む。
取付けに不備があると、
落下の原因となります。

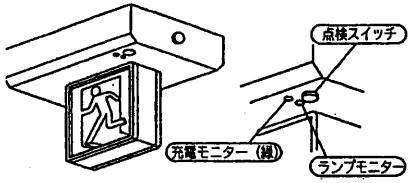
②避難方向などが正しいか
確認してください。
不備があると正しい
避難誘導ができません。




### 9 充電状態と非常点灯の確認

●電源通電状態でランプ及び各モニターランプの状態を確認する。
[正常状態]充電モニター(緑)は点灯、ランプモニターは消灯

●点検スイッチを押し、非常点灯に切り替わるのを確認する。
(点検中、充電モニターは消灯)




正常に動作しない場合は(故障かな?と思ったときは)を参照し確認してください。

## 故障かな?と思ったときは

●表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

| 現 象 | 考えられる原因 | 処 置 |
|---|---|---|
| ランプが点灯しない | インバータ発振停止モードになっている。 | 点検スイッチを押す(それでも点灯しない場合はリセットスイッチを押す)。 |
| | ランプコネクタが外れている。 | ランプコネクタを確実に接続して点検スイッチを押す。 |
| | ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。 | ランプ交換後は、リセットスイッチを押す。 |
| | 消灯スイッチがOFFになっている。 | 消灯スイッチをONにしてください。 |
| 表示面が暗い | 周囲温度が5~35℃の範囲外である。 | 5℃以下の場合暗くなる。 |
| | 点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。 | 点検スイッチの引っ掛かりを直す。 |
| 表示面に影・ムラがある | コネクタやリード線がランプより手前にきている。 | 表示面に映らない様、コネクタ、リード線を処理する。 |
| 充電モニターが点灯しない | 蓄電池コネクタが外れている。 | 蓄電池コネクタを確実に接続する。 |
| | 点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。 | 点検スイッチの引っ掛かりを直す。 |
| ランプモニターが点滅している | ランプの寿命である。 | ランプを交換して、リセットスイッチを押す。 |
| | ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。 | ランプ交換後は、リセットスイッチを押す。 |
| ランプモニターが点灯している | ランプコネクタが外れている。 | ランプコネクタを確実に接続して点検スイッチを押す。 |
| | ランプが破損している。 | ランプを交換して、リセットスイッチを押す。 |
| 非常点灯しない | 蓄電池コネクタが外れている。 | 蓄電池コネクタを確実に接続する。 |
| | 蓄電池の充電不足である。 | 24時間以上充電する。 |
| 短時間しか点灯しない(20分未満) | 蓄電池の寿命である。 | 蓄電池を交換する。 |
| 非常点灯中に20分以上点灯後、突然消える | 蓄電池の過放電を防止するため、ある電圧までさがると消灯します。正常な動作です。 | |

取説No.E766Z982H20

# 取扱説明

## お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

●ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

### ⚠警告

●器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
●アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。

### ⚠注意

●ランプの交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってしばらくしてから行ってください。やけど・感電の原因となります。
●ランプ両端のゴムブッシングおよび内蔵防水ケースは、絶対に外さないでください。感電の原因となります。
●蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
●蓄電池は絶対に分解しないでください。感電・やけどの原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
●蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。
●照明器具には寿命があります*1。3~5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、
不具合がありましたら適切に処置してください。放置すると、火災の原因となることがあります。

*1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8~10年が取り替え時期の目安です。但し蓄電池は、4~6年です。

## 使用上のご注意

●コネクタ、リード線は(器具の取付方法)、(お手入れ・交換部品)にしたがい表示面に映らないように処理してください。
●充電モニター(緑)……蓄電池充電中は緑色のモニターが点灯します。
●ランプモニター……ランプモニターは、ランプの寿命や異常などをお知らせするものです。
[赤色点滅] ランプ交換時期の目安です。器具設置後又は、ランプ交換後約6年半をタイマーでカウントし、ランプ交換時期の目安を赤色点滅でお知らせします。
[赤色点灯] ランプ又は、ランプの接続に異常が発生しています。
ランプモニターが点滅したら(ランプの交換方法)にしたがって交換してください。
(注) ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

◆定期点検 3ヵ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヵ月に1回は、必ず非常点灯持続時間(20分以上)、切換動作などの機能点検も合わせておこなってください。
(点検については、消防庁告示第3号および第14号に定められています。)

○設置年月日 年 月 日　○取付場所　○器具No.

| 点検年月日 | 点検状態 | | 点検者 | 点検年月日 | 点検状態 | | 点検者 | 点検年月日 | 点検状態 | | 点検者 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 外観 | 機能 | | | 外観 | 機能 | | | 外観 | 機能 | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

## 器具定格・接続図

定格

| | WSH1711 |
|---|---|
| 定格電圧 | 専用電源AC100V |
| 入力電流 | 0.065A |
| 入力電力 | 4W |

接続図